

旧クニエの年収を 公開データで読み解く

【解説に入る前に】サービスのご紹介



SAPに特化したフリーランス案件と
コンサルタント/エンジニアのマッチングサービス

- ✓ 月額120万円以上が9割。業界トップレベルの単価水準。
- ✓ 高単価案件から安定稼働の案件まで多数保有！
希望に沿った案件をご提示します。

詳細を見る →



SAPエンジニア/コンサルタントに特化した
転職エージェント

- ✓ 現役SAPコンサルタントがあなたの市場価値を最大化する
キャリア戦略をご提案！
- ✓ 登録者限定！Webでは見つからない非公開求人あり。

詳細を見る →

SAP業界のキャリアと年収のリアル



現役SAPコンサルタントであるキャリアアドバイザーが対話形式でSAP業界の実態を解説。年収相場や転職市場の実情など会社員からフリーランスまでのキャリアパスを詳細に紹介。あなたのSAPスキルの市場価値が分かります。

詳細を見る →



● 社名変更の経緯と現在の姿



社名変更の概要

2025 年 10 月にフォーティエンスコンサルティングへ変更



旧クニエとの関係

同一会社。過去記事の口コミとの混同に注意



注目点

新社名は先見性・不屈・知性・経験の 4 語を組み合わせた造語

● NTT データグループ内の立ち位置



グループ中核ファーム

2009 年設立。従業員 1,000 名超のコンサルティングファーム



経営から DX まで

経営戦略・BPR・SCM・DX 構想を上流から担う幅広い領域



戦略～実行一気通貫

構想策定から現場定着化まで一貫支援できる体制が強み

グループ基盤と一気通貫の案件体制がコンサルタントの年収水準を支えている

● 会社全体の年収水準を読む



親会社 NTT データの平均年収

第 40 期有報ベースで約 923 万円（平均年齢 39.7 歳）



公開求人の想定年収レンジ

450 万～ 1,500 万円（職種・役職により変動）



注目点

クニエ単体の有報はなく、公開求人票が最も近い一次データ

● グループ系コンサルの年収ポジション

NTT データグループ

第 40 期有価証券報告書

- ・ 平均年間給与：約 923 万円
- ・ 平均年齢：39.7 歳
- ・ 旧クニエはグループの子会社

VS

野村総合研究所（NRI）

有価証券報告書ベース

- ・ 平均年収：約 1,322 万円
- ・ 独立系コンサルのトップ水準
- ・ グループ系と報酬体系が異なる



判断のポイント

求人レンジはこの帯に収まる。役職の昇進速度が差を生む

● 役職別の年収目安（4段階）

1

コンサルタント

600 万～ 800 万円台が中心。前職スキルで提示額が変動する

2

シニアコンサルタント

800 万～ 1,000 万円超が中心。昇進で年収の重心が一段上に移る

3

マネージャー

公開求人の想定年収でおおむね 1,000 万～ 1,500 万円のレンジ

4

シニアマネージャー

1,500 万円前後が目安。確定した公開データは限られ参考値

● ディレクター・パートナー層の報酬



業績連動の比重が大きい

上位役職ほど業績貢献が直接年収に反映される構造



公開データは限定的

求人票に金額が明示されることはほとんどない



注目点

この層に到達できるかで生涯年収のカーブが大きく変わる

● 年代別の年収と昇進スピード

20 ～ 30 代前半



20 代後半

シニアコンサルタントへの昇進例あり



30 代前半

マネージャー昇進で年収 1,000 万円超も視野に



SAP スキルの武器

難度の高い案件で評価され昇進を後押しする

40 代以降



上位役職を目指す

ポスト数は限られるが年収レンジ最大化の道



専門特化路線

SAP 特化 PMO など替えの効かない人材への道



グループ内外への転身

NTT データグループ内外でキャリア選択肢が拡大

● 年俸制の仕組みと福利厚生

年俸制の仕組み



支給方法

年俸を 12 分割して毎月支給が基本



賞与の扱い

賞与相当分も年俸に含む設計のため要確認



残業代の扱い

みなし残業の有無は必ず募集要項で確認

グループ系の福利厚生



制度の手厚さ

財形貯蓄・各種手当・NTT グループ保養施設



両立支援・研修

育児休業など両立支援制度とキャリア開発基盤



経営の安定性

親会社基盤による景気変動への耐性が強み

● SAP 領域での受賞実績と案件強み



SAP AWARD 3 賞受賞

Excellent Project Award を通算 11 回受賞など継続的に高評価



S/4HANA 移行実績

日本初の SAP ASE マイグレーション等、上流から一貫担当



RISE with SAP

SAP BTP やクラウド活用の案件でも継続的に評価を獲得

SAP 上流に強いファームで、専門スキルの市場価値が年収に反映されやすい

● 「年収が低い・やばい」は本当か

よくある心配の声

誤解しやすいポイント

- ・ 口コミベースの「低い」印象
- ・ 他職種との不当な粒度比較
- ・ 会社全体 vs 個人の混同

VS

公開データが示す実態

同粒度で比べると

- ・ グループ系相場に収まる水準
- ・ 役職連動で年収が大きく伸びる
- ・ コンサル層は業界平均より高め



判断のポイント

同粒度比較では「低い」とは言えない。昇進速度が年収の差を生む

● 年収を上げる 3つの選択肢



社内昇進

マネージャー以上のレンジを狙い、年収を段階的に引き上げる



他ファームへ転職

提示年収を引き上げる環境の変化。SAP スキルが武器になる



フリーランス転身

SAP 専門性を活かして月額単価と年収を最大化する選択肢

SAP の専門性が高いほど、3つのルートすべてで年収の上限が上がる

● まとめ | 旧クニエの年収と転職判断



2025 年 10 月に社名変更。旧クニエとフォーティエンスは同一会社



マネージャー昇進が年収の大きな転換点。役職が年収レンジを左右する



SAP 上流の受賞実績が豊富で、専門スキルの市場価値が反映されやすい

NEXT ACTION

まずは SAP 案件の無料相談・登録

[SAPフリーランスバンク >](#)

[SAPテンショク >](#)